

# 香教連速報

# 勤務交渉

## 業務の多忙感解消、土曜日の教育活動のあり方等を強く要望!

香教連は、7月10日(木)15:00から県庁本館12階第5会議室において、香川県教育委員会との総括交渉を行った。香教連からは地下委員長以下5名が出席。県教委側は、篠原好宏義務教育課長ほか8名が対応した。主な要望と回答は、以下の通り。**太字は要望項目、香教連の主張はゴシック、県教委の回答は明朝斜体字**で表記している。



【香川県教職員連盟 参加者】



【香川県教育委員会 参加者】

### ○ 土曜日の教育活動のあり方について、教職員にとって過度な負担にならないよう市町教育委員会に指導すること。

【上村副委員長】土曜日の教育活動の実施は、今年度に入り香川県内においても、昨年度までの東かがわ市に加え、善通寺市でも始まっている。今後、他の郡市においても実施が新たに始まるのが考えられる。香教連の会員に行ったアンケートからも土曜日の教育活動の実施に対して様々な声が聞かれる。昨年度までの実施校の様子を聞くと、学校によって様々な方法で実施されており、補充指導を行う学校、学生が中心となって活動を行う学校等、様々である。しかし、土曜日の教育活動を行うための準備は平日の放課後に行われており、教員の負担も多いと聞く。土曜日の教育活動を実施するに当たって、教職員にとって過度な負担にならないよう市町教育委員会に指導を行っていただきたい。



【篠原義務教育課長】昨年11月の文部科学省からの通知に合わせ、県教育委員会としての基本的な考え方を通知した。「教育課程外だ実施すること」。「教育課程内であれば教員は振替をとること」。「地域人材を生かすこと」。「さぬき学びの支援隊の人材も使いながら実施してほしい。また、教職員への手当についても考えていきたい。」



### ○ 児童生徒の指導や若年教員の指導力向上に寄与できるように「さぬき学びの支援隊」事業がよりよい制度であるようさらなる充実を図ること。

【中尾執行委員】今年度も多くの新規採用者が任用され、各学校には若年教員が増えている中、若年教員の指導力、教師力の向上について課題が見られるという声が現場から聞こえてくる。同学年に若年教員がいることで、ベテラン教員の多忙感が増しているという声も聞かれる。香川県退職教員学校サポート事業で経験豊富な退職教員の方を学校に派遣していただけるのは、とてもありがたい制度であると考えている。登録者が少なく、県教委としても苦慮していることは十分承知しており、香教連としても退職した会員に登録を勧めている。大量退職時代を迎え、今後も指導力、教師力に長けた優秀な先生方が退職されることが予想される中、退職者再雇用制度の整備とも併せて香川県退職教員学校サポート事業の拡充を要望する。



【篠原義務教育課長】昨年160名の支援隊の先生を120校に配置して事業を行った。今後も登録者を増やすよう努めている。新規採用者への指導も拡充したいと考えている。しかしながら受け身的な若年教員が増えてきている現状がある。現場の中で工夫しながら若年教員を育てていってほしい。



### ○ 配慮の必要な児童生徒に、個に応じた指導が行える通級指導教室の充実が図られるよう、通級指導教室の増設および通級指導教員の増員を図ること。

【安部副委員長】今年度、県内では聾学校を含む22校に通級指導教室が設置され、全市町の一つは通級指導教室が設けられたことに感謝申し上げる。現在323名の児童が通級指導教室へ通級しており、自校に通級指導教室がないため、近隣の通級指導教室に通っている児童がもまだまだ見られ、この児童は保護者による送迎で通級しているという現状がある。学校現場では、特別支援教育に対するニーズに比例するよう、支援を必要とする児童生徒に対する指導への不安も多岐に亘っていると聞く。そのため、通級指導教室の新設を願う学校は多い。中学校における通級指導教室の設置は、教科担任制であるという特性もあり、難しいことは承知しているが、小中学校における通級指導教室の増設および通級指導教員の増員を図られたい。



【平畑特別支援教育課長】通級指導教室については、今年度直島小にも設置され、全市町に設置された。今後、中学校の設置も考えていきたい。通級指導員は人数よりも質を重視していきたいと考えている。各市町の話聞きながら、進めていきたい。



### ○ 栄養教諭の本来の職務を勘案し、兼務発令を解除し一校への常駐配置とすること。

【中尾執行委員】栄養教諭制度は学校における食育の推進に中核的な役割を担うものとして平成17年度から施行されているものである。現在、県内の小中学校において栄養教諭は73名(育休を含む)、再任用1名が任用されているが、そのほとんどが複数校を兼務しており、本来の食育を推進するための食育指導を行うことが難しいという現状がある。さらに、給食業務を行っていることも多く、異物混入などが起こったときの対応にも追われている。食生活を取り巻く社会環境が大きく変化し、食生活の多様化が進む中で、朝食をとらないなど子どもの食生活の乱れが指摘されており、子供が将来にわたって健康に生活していけるためにも食育は必要である。栄養教諭が本来の職務に専念できるよう、兼務発令を解除し、一校への常駐勤務となるようにしていただきたい。



【篠原義務教育課長】栄養教諭の配置については「義務標準法」に則って行っており、平成26年度は市町立小中学校に栄養教諭等83人を配置している。兼務発令はできるだけ多くの学校に指導できるようにするための方策である。県としても栄養教諭等の定数改善について国に要望しているところである。





【1面より続く】

○ 「教員業務改善アクションプラン」に示された内容と成果を検証した結果を公表し、それをふまえ、改善を必要と認めた場合、速やかに管理職を指導すること。



【上村副委員長】平成23年度より実施された「教員業務改善アクションプラン」において、各学校においてどのような成果が表れたのか、検証を行っているならば、その検証結果について教えていただきたい。香教連会員のアンケートの中で、会員の92%が多忙感を持っているという結果が見られた。多忙な原因として、最も多いのが事務処理の増大、続いて成績処理という結果になっている。「教員業務改善アクションプラン」を見るかぎり、県教委からは調査等の削減、簡素化が盛り込まれ、実際に行っていることはありがたいことである。しかし、アンケートの結果を見る限り、現場の教員の多くはそれを実感していないのが現実のようである。成果がすぐに出るものではないことは、十分に理解しているが、今後も、業務改善に向けて啓発をお願いするとともに改善が必要と認めた場合は、速やかに管理職を指導し、改善を図っていただきたい。

業務改善アクションプランの内容の実施にあたっては、市町の教育委員会や各学校に委ねられる部分もあると思うが、具体的に改善の内容を示していただいたことで、大変ありがたい。「教員業務改善アクションプラン」が、子どもたちと向き合う時間の確保につながるよう、今後も市町教育委員会並びに各学校へ強く働きかけ、教員の業務改善がなされ、子どもと向き合う時間が確保されたと、先生方の中から声として上がってくるようにしていただきたい。

【篠原義務教育課長】県として「教員業務改善アクションプラン」に基づき、調査等の削減・簡素化、研修会等の見直し学校支援体制の充実、ICTの活用による業務の効率化等に取り組んでいる。現場の先生方は本来すべき業務なのかそうではないのかを意識して欲しい。忙しいからなくするのはなく、効率化を図って欲しい。県民が、先生方が頑張っているという姿勢を見せて欲しい。



○ 教員の妊娠時の女子教員に対する体育代替教員制度が機能的に運用できるよう抜本的な見直しを行うこと。



【矢代事務局長】昨年度、体育代替教員制度の要件緩和について要望させていただいた。「学級規模が8学級以上の場合、教員定数が1名増になるため、援助できる体制にあると考えている。」「代替教員については、講師登録などを行い、任用に努めているが、今後も代替教員の確保に努めていく。」という回答をいただいている。

若年教員の増加に伴い、このような制度を必要とする教員も増えてくると考えられる。また、代替教員にとっても週に2時間のために来ることにやや無理があると思われる。同一勤務校の教師や管理職が代わりに行うことが一般的であるようだが、代わりに先生に対する手当もない。また、中学校の女性教員においても同様であり、安心して結婚、育児ができるよう、代替教員制度の見直しを行っていただきたい。

【篠原義務教育課長】学級規模が8学級以上の場合、教員定数が1名増になるため援助できる体制にあると考えている。代替教員についても任用に努めているが、週に3~4時間という勤務ではなかなか難しい現状があるのも事実である。母体保護という観点でも利用しにくい制度であるようなので検討していきたい。



○ 校務のICT化を進めるにあたって、現場に混乱が起きないようにスムーズに運用できるシステムの導入を各市町教育委員会に進言すること。



【安部副委員長】業務の改善により子供たちと向き合う時間を確保するための一つの手段として県教育委員会は各市町教育委員会と連携してICT連絡協議会を立ち上げ、電子化された指導要録や評価システムの導入に取り組んでいただいている。また、業務のICT化も進んできている。

しかし県から配布された出席簿のソフトに不具合が生じ、集計が滞ったり、専門的な知識やスキルが必要である場合があるということを会員から聞いている。また、郡市によってもシステムに違いがある場合もある。ICT連絡協議会の中において、全県が統一したシステムになり、現場に混乱が起きないようにスムーズに運用できるシステムが導入されるよう各市町教育委員会に進言していただきたい。

【篠原義務教育課長】ICT連絡協議会で各市町教育委員会と連携しながら公務のICT化を進めていきたいと考えている。



# 香教連は、香教連会員の皆様の要望を確実に県教委へ伝えます!

## ☆ これからの香教連・教文研研修会情報 ☆

### ① 第6回講師部研修会

- 日時: 7月27日(日) 13:00~(受付12:30~)
- 場所: サンポートホール高松 63会議室他 (高松市サンポート2番1号)
- 内容: 講義(2次試験対策模擬授業について) 実習(模擬授業)
- 日程: 12:30~13:00 受付  
13:00~13:10 開会行事  
13:10~14:00 講義: 2次対策模擬授業について 講師: 香川大学准教授  
14:00~14:15 休憩  
14:15~17:15 模擬授業実習 指導: 現職教諭・養護教諭  
17:15~17:30 閉会行事、事務連絡

### ② 第7回講師部研修会

- 日時: 8月10日(日) 10:00~17:00(受付9:30~)
- 場所: 香川県教育会館第1、2会議室他
- 内容: 講義(2次試験対策模擬授業について) 実習(模擬授業)
- 日程: 9:30~10:00 受付  
10:00~10:10 開会行事  
10:10~11:00 講義: 2次対策について 講師: 香川大学准教授  
11:00~11:10 休憩  
11:10~12:00 講義: 2次対策について 講師: 香川大学准教授  
12:00~12:45 昼食  
12:45~13:00 諸連絡  
13:00~17:15 模擬授業実習、個人面接実習  
17:15~17:30 閉会行事・事務連絡

### ③ 香教連教育セミナー

- 日時: 9月27日(土) 13:30~16:00(受付13:00)
- 場所: 香川県教育会館ミューズホール
- 講師: 明石 要一氏 (千葉敬愛短期大学学長)
- 申し込み、お問い合わせは 香川県教職員連盟事務局 (087-835-2721)



### ④ 結成40周年躍進大会

- 日時: 11月1日(土) 15:00~17:15(受付14:30)
- 場所: 高松国際ホテル
- 講師: 田中 壮一郎氏 (国立青少年教育振興機構理事長)
- 記念レセプション 18:00~(受付17:30)
- 申し込み、お問い合わせは 香川県教職員連盟事務局 (087-835-2721)



### ⑤ 養護教諭部研修会

- 日時: 11月22日(土) 13:30~16:00(受付13:00)
- 場所: 香川県教育会館
- 講師: 三村 由香里氏 (岡山大学大学院 教育学研究科教授)
- 申し込み、お問い合わせは 香川県教職員連盟事務局 (087-835-2721)